

【 第 3 回中標津町自治推進会議報告 】

日時：平成 24 年 12 月 11 日（火）19：00～20：45

場所：中標津町役場 3 階 301 号会議室

出席者：10 名（中標津町自治推進会議委員 5 名、ファシリテーター 1 名（東田）、事務局 4 名）

<会議次第>

- 1 開 会
- 2 主催者挨拶
- 3 会 長 挨 拶
- 4 議 題<進行：東田ファシリテーター>
 - （1）グループ討議まとめ
（説明：東田ファシリテーター）
発 表
 - （2）施策評価の概要について
（説明：阿部係長）
 - （3）今後のスケジュール
（説明：阿部係長）
 - （4）その他
- 5 閉会挨拶
- 6 閉 会

<配布資料>

- グループ討議結果（省略）
- 施策評価調書（施策順）（省略）
- 今後のスケジュール（別途掲載）
- 外部評価に対する意見（別途掲載）

<会議結果報告>

- 1 開会 [部長挨拶]
- 2 主催者挨拶：宮川総務部長
- 3 会長挨拶：西根会長
- 4 議題<進行：東田ファシリテーター>
 - （1）グループ討議まとめについて
東田ファシリテーターより説明
([討議結果（施策評価に掲載のため省略）](#))



[会長挨拶]



[ファシリテーター説明]



[A グループ発表風景]



[B グループ発表風景]



A グループ発表（省略）

B グループ発表（省略）

（ 2 ）施策評価の概要について

阿部係長より説明

（ [資料 1（後日公表のため省略）](#) ）

（ 3 ）今後のスケジュールについて

阿部係長より説明

（ [資料 2 P3～6](#) ）

（ 4 ）その他

外部評価に対する意見等について

阿部係長より説明

（ [資料 3 P7～9](#) ）

委員の委嘱替えについて

高橋課長より説明

（ [資料 4 P10](#) ）

委員の皆さんからの意見

（ [資料 5 P11](#) ）

次回の自治推進会議の日程は、未定です。

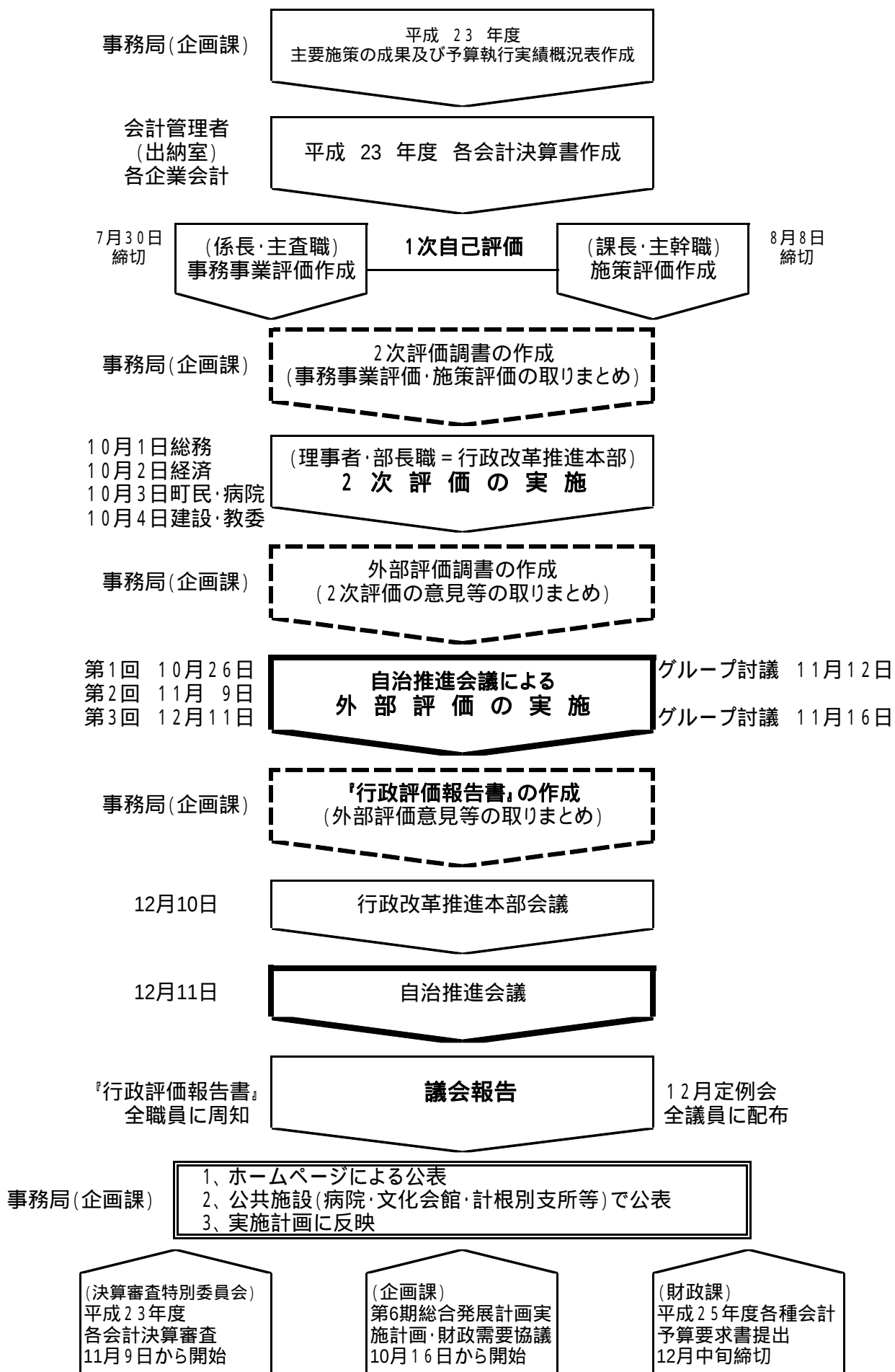
5 閉会挨拶：小野副会長

6 閉 会

[副会長挨拶]



平成24年度 自治推進会議 行政評価の流れ



自治推進会議スケジュール

開催日	自治推進会議
平成24年 10月26日(金)	・委嘱状の発布・町長挨拶・参加者自己紹介 ・会議のルール提案、外部評価の概略説明、自治推進会議の役割について説明
11月9日(金)	・会議ルール確認 ・外部評価の実施(施策別グループワーク) (2グループ)
11月12日(月)	・外部評価の実施(施策別グループワーク) (Bグループ)
11月16日(金)	・外部評価の実施(施策別グループワーク) (Aグループ)
12月11日(火)	・グループワークのまとめ ・外部評価のまとめ
平成25年 6月上旬(金)	・自治基本条例に基づく、取り組みの検証の概要説明 ・基本原則の検証
6月下旬(金)	・基本原則の検証(施策別グループワーク) (2グループ)
7月上旬(金)	・グループワークまとめ ・取りまとめ
10月上旬(金)	・外部評価の実施(施策別グループワーク) (2グループ)
10月下旬(金)	・外部評価の実施(施策別グループワーク) (2グループ)
11月上旬(金)	・グループワークまとめ ・外部評価のまとめ
平成26年 6月上旬(金)	・基本原則の検証(施策別グループワーク) (2グループ)
6月下旬(金)	・基本原則の検証取りまとめ
7月上旬(金)	・グループワークまとめ ・取りまとめ

開催日	自治推進会議
10月上旬（金）	・ 外部評価の実施（施策別グループワーク） （2グループ）
10月下旬（金）	・ グループワークまとめ ・ 外部評価のまとめ
11月上旬（金）	・ グループワークまとめ ・ 外部評価のまとめ
平成27年 6月上旬（金）	・ 基本原則の検証（施策別グループワーク） （2グループ）
6月下旬（金）	・ 基本原則の検証取りまとめ
7月上旬（金）	・ グループワークまとめ ・ 取りまとめ
10月上旬（金）	・ 外部評価の実施（施策別グループワーク） （2グループ）
10月下旬（金）	・ グループワークまとめ ・ 外部評価のまとめ
11月上旬（金）	・ 外部評価のまとめ

今後の日程

- ・自治推進会議は、平日の金曜日の夜に開催を予定

平成 24 年度 第 1 回自治推進会議	平成 24 年 10 月 26 日 (金)
平成 24 年度 第 2 回自治推進会議	平成 24 年 11 月 9 日 (金)
自治推進会議分野別グループ討議	平成 24 年 11 月 12 日 (月)
自治推進会議分野別グループ討議	平成 24 年 11 月 16 日 (金)
平成 24 年度 第 3 回自治推進会議	平成 24 年 12 月 11 日 (火)
平成 25 年度 第 1 回自治推進会議	平成 25 年 6 月 日 (金)
平成 25 年度 第 2 回自治推進会議	平成 25 年 6 月 日 (金)
平成 25 年度 第 3 回自治推進会議	平成 25 年 7 月 日 (金)



自治推進会議委員の皆さんからの意見

Aグループ

- ・ 評価の議論を行う前にやり方についての打ち合わせをしてから討議してほしい。
- ・ 評価の視点等の確認が必要。来年は、もっと分かりやすく。
- ・ 評価調書が細かすぎて分かりづらい。数値、視点等細かく難しかった。
- ・ もっと大きな視点での議論ができればいい。
- ・ まちづくりの視点で具体的な意見が出せればいい。
- ・ 行政のプロが評価したものを町民の評価が必要なのか。

Bグループ

- ・ 縦版横版の資料が混在するので統一するなど工夫してほしい。
- ・ 資料配布後の時間が短い。
- ・ 事務事業に対する中身の質問もいいのか。
- ・ 協議する時間をもっと取るべき。
- ・ 全体会議が必要、取りまとめの確認はすべき。

アドバイザーの先生からの意見

平岡先生

評価を行うことで、行政の仕事について知ることができた

評価調書の改善が必要 = 目標・成果指標の妥当性の検証

個別指標ではなく、大きな指標・目標

データは総合的に分かりやすく

住民参加で何を評価するのか = 細かい事業ではなく、大きな視点

改善のためにはどのような取り組みを行っていくのか

役場の取り組みについて評価することによって地域でどのようなことができるのか

住民参加による評価を実施すること自体が大事

評価のあり方を考え直していく

まちづくり全体の課題を共有する

酒井先生

評価調書がわかりづらい。文章が丁寧でない

データの出し方を検討する必要がある

データの種類、表し方など理解できるデータとして文章化する

周辺市町村とのかかわりをどう評価するか

市街地と農村部との違いがあり、統一した評価が難しい

行政に対する評価だけでなく、住民自身も評価されることになる

細かな施策に対する評価は難しい

行政改革推進本部員からの意見

本部会議の中での意見

副 町 長 = 教育行政の施策評価の外部評価を教育委員会でやっている。整理が必要。

町 長 = やり方として、部署ごとの取り組みの実態がわかり、情報共有の面ではいい。

副 町 長 = 担当者レベルの評価である事務事業評価を眺めたときに、公平性・必要性・妥当性・効率性が担当係長によって評価のラインが全く違う。そういうものを少し共有していかないと、同じ目線にならないと、後々困ってくると思う。

施策評価の部分では、議会と消防は対象外としたが、町長部局と、他の委員会の評価をどこまで本部会議でやっていいのかというのが懸念した。

農業委員会は、委員会として委員さんの目に触れているのか。

また、教育長は教育委員としての立場もあるので、ここの議論に入っているのか。

西村部長 = 基本計画そのものについて、町民の思いが入っているから細くなるのは仕方が無いが、もう少しまとめてもいいのでは。ベンチマークの見直しについても議論が必要。

副 町 長 = 事務事業の部分は、ほとんどが事業費のあるものになっている。

宮川部長 = ベンチマークがあるのに、事務事業が何も載っていない。

町 長 = ソフト事業をいれたほうがよい。

12月10日会議での意見

松本事務局長 = 専門分野で分けるなど、やり方について工夫が必要。

町 長 = 施策段階ほどのレベルでまとめるかどうか。全施策では細かすぎる。

中標津町自治推進会議委員名簿

2012.11.28

自治推進会議委員

任期：平成24年11月28日から平成28年3月31日まで

番号	氏 名	所属団体等
1	おお かわ やす ひろ 大 川 泰 洋	連合北海道中標津地区連合会
2	お の ひろし 小 野 弘	中標津町全町内会連合会
3	かま だ じゅん 鎌 田 淳	中標津町民生委員・児童委員協議会
4	くり ざき かつ ひで 栗 崎 勝 秀	中標津町安全で住みよいまちづくり推進協議会
5	さ さ き たかし 佐々木 孝	中標津町中小企業振興審議会
6	しも や ひさ かず 下 家 久 和	財団法人中標津町文化スポーツ振興財団
7	せき や あき ひと 関 谷 彰 人	中標津町生涯学習委員会
8	にし ね たつ み 西 根 辰 美	社会福祉法人中標津町社会福祉協議会
9	やす だ みのる 安 田 稔	中標津町農業委員会
10		公募
11		公募
12		公募
13		公募
14		公募
15		公募

50音順

アドバイザー

1	さか い たかし 酒 井 多加志	北海道教育大学釧路校教授
2	ひら おか しゅん いち 平 岡 俊 一	北海道教育大学釧路校講師

ファシリテーター

1	とう だ ひで み 東 田 秀 美	特定非営利活動法人旧小熊邸倶楽部
---	----------------------	------------------

事務局

1	みやかわ むつみ 宮川 睦	総務部
2	たか はし よし さだ 高 橋 善 貞	総務部企画課
3	あ べ たか ひろ 阿 部 隆 弘	総務部企画課協働推進係兼行政改革推進係
4	にし ね たけ し 西 根 武 史	総務部企画課企画調整係
5	くま くら ゆめ こ 熊 倉 夢 子	総務部企画課協働推進係兼行政改革推進係

12 月 11 日会議での意見

- ・進め方について議論してから、進めた方がいい
- ・人数が少ない、グループ分けしなくてもいい、意見がいろいろになる
- ・少ない人数での外部評価に値があるのか
- ・もっといろいろな意見を集約して、整理する形をとってほしい
- ・これで町民に示せるのか、荷が重過ぎる
- ・外部評価は内部評価したものではなく、違うものでいいのではないか
- ・休むと参加しづらい
- ・出てきた細かい意見を羅列する形でいいのではないか、議論の内容が大事
- ・議論の過程を示すことが必要ではないか
- ・部長職が入り、質問に対する答弁になっていて、丸め込まれた感じがする
- ・意見をくみ取るようであれば、本当の評価とは言えない
- ・質疑応答にもっと時間をかけるべき
- ・事業内容についてもっと議論すべきことがあるのではないか
- ・税金など他の事業も評価必要ではないか
- ・もっと大きな枠で評価するほうがわかりやすい
- ・町民として理解していないこともあり、言いたいことも言えない
- ・総体としてはよかった